



平成24年5月15日（火）
国土交通省関東地方整備局
首都国道事務所

記者発表資料

首都国道事務所の道路事業概要について (東京都版)

～活気ある街、安心して暮らせる街を実現する道づくり～

首都国道事務所は、首都圏東南部で国道298号^{とうきょうがい}東京外かく^{かんじょうどうろ}環状道路（通称：外環^{がいかん}）の整備及び国道357号^{とうきょうわんがんだうろ}東京湾岸道路、国道14号^{かめいどこまつがわりったい}亀戸小松川立体、国道6号^{にいじゆくかくふく}新宿拡幅の整備を行っています。

管内は、暮らしの場に加え、首都圏における海外交流や物流の拠点も形成されています。暮らしや経済活動に影響を与える渋滞を緩和し、安心・安全な暮らしを確保するため、計画的な道路ネットワークの整備を押し進めていきます。

引き続き、事業推進にご理解ご協力をお願い致します。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者クラブ、都庁記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局首都国道事務所

副所長（地域広報官）^{ふじた}藤田^{あきら}明（内線 205）

計画課長 ^{いしくら}石倉 ^{たけし}丈士（内線 261）

電話 047-362-4111（代表）

《首都国道事務所の道路事業概要》

■ 事業箇所図



平成24年度 首都国道事務所（東京都内）事業費

(単位:百万円)

事業名		事業費
改築事業		4,044
	国道357号 東京湾岸道路(東京都区間)(新木場地区)	3,830
	国道14号 亀戸小松川立体(小松川地区)	70
	国道6号 新宿拡幅	144
合計		4,044

※上記の他、維持管理費、調査費、業務取扱費等がある。

① 国道357号 東京湾岸道路(東京都区間) (新木場地区)

とうきょうわんがんどうろ

しんきばちく

◆平成24年度事業費 : 3,830百万円

《事業の概要》

国道357号(東京湾岸道路)は、東京湾を取り巻く千葉県、東京都、神奈川県^{ふたまた}の海岸沿いを千葉県富津市から神奈川県横須賀市^{たつみ}に至る延長約160kmの幹線道路で、当事務所では、千葉縣市川市二俣から東京都江東区辰巳までの約16.4kmの区間の整備を行っています。

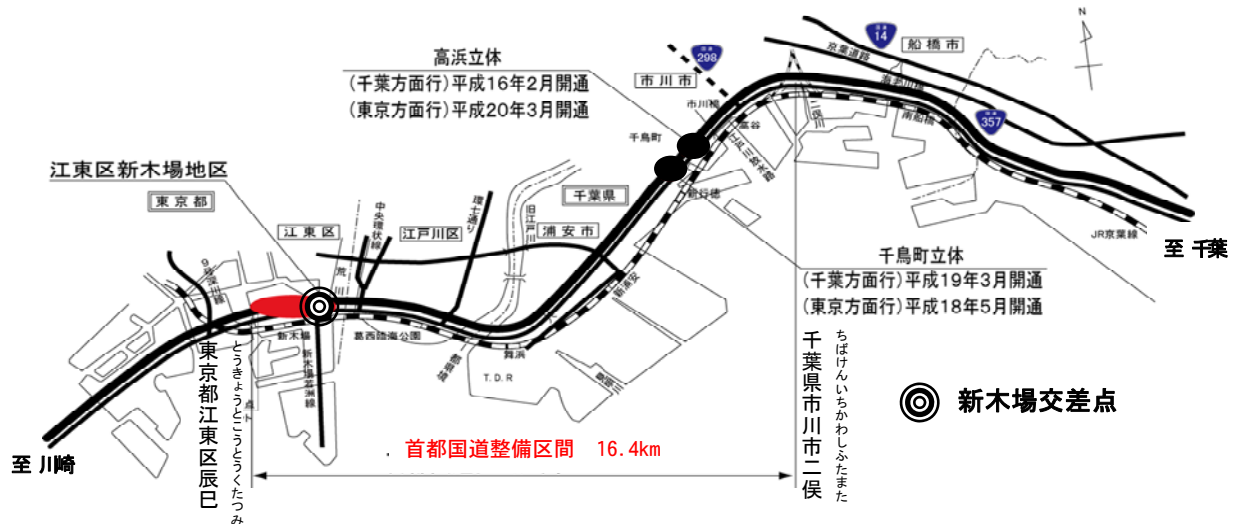
沿道に工場や物流施設が集まり、また東京ディズニーリゾートなどの大規模レジャー施設も多いこの区間では、主要交差点での交通渋滞が激しく、円滑な交通の妨げとなっていることから、慢性的な交通渋滞を緩和するために、主要交差点部の立体化の整備を順次進めています。

なお、平成23年12月には、東京ゲートブリッジと接続する新木場交差点について付加車線の設置等の交差点改良を実施しました。

《平成24年度の事業内容》

新木場交差点においては、東京臨海道路Ⅱ期整備後に新木場若洲線の交通量の増加が見込まれ、隣接する夢の島交差点とともに渋滞対策が急務となっています。この渋滞対策として、新木場地区整備では、交差点の連続立体化を実施しています。

平成24年度も引き続き、新木場地区の交差点立体化に向け、調査設計や橋梁上部工を推進します。



かめいどこまつがわりったい こまつがわちく
② 国道14号 亀戸小松川立体 (小松川地区)

◆平成24年度事業費 : 70百万円

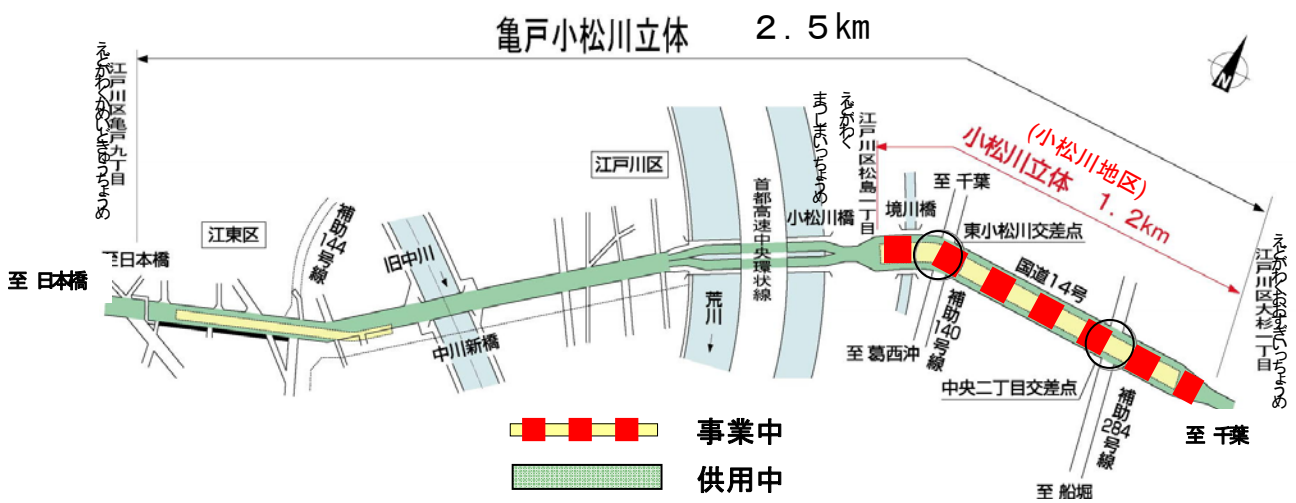
《事業の概要》

国道14号の亀戸小松川立体(延長2.5km)のうち、当事務所では、江戸川区松島1丁目から江戸川区大杉1丁目の小松川立体(延長1.2km)の整備を行っています。

この区間では、東小松川交差点を先頭に交通渋滞が発生しており、渋滞を緩和し沿道周辺の都市機能の改善を図るための拡幅・立体事業です。

《平成24年度事業内容》

平成24年度は、小松川地区における用地調査・用地取得を推進します。



東小松川交差点付近

③ 国道6号 新宿拡幅

にいじゆくかくふく

◆平成24年度事業費 : 144百万円

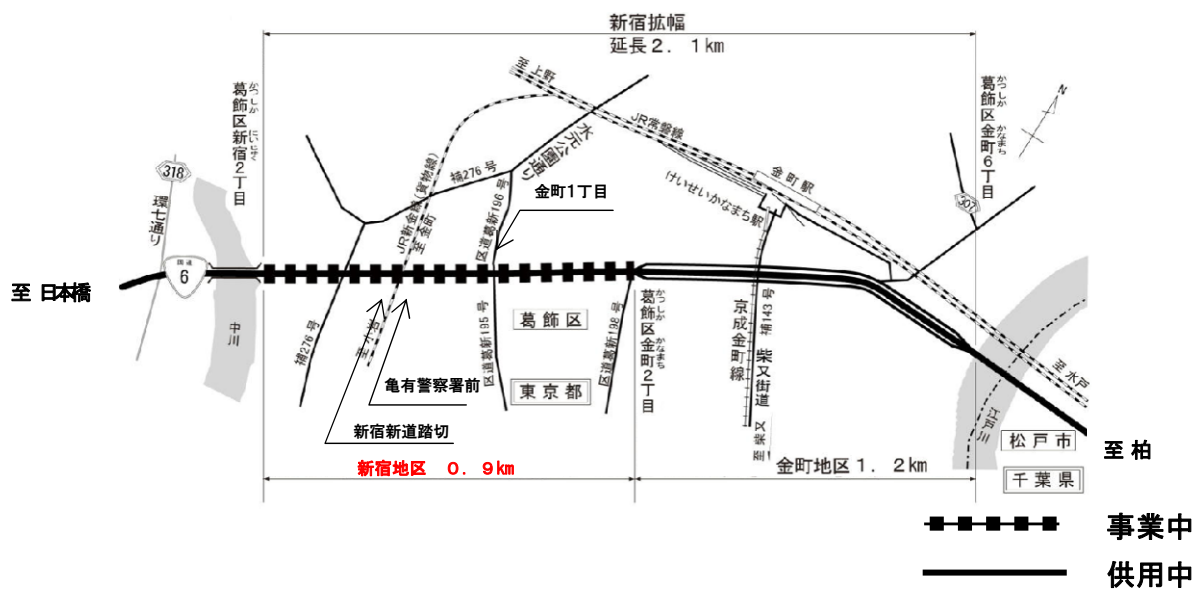
《事業の概要》

新宿拡幅は、葛飾区新宿2丁目から葛飾区金町6丁目における、主要交差点・鉄道踏切を起因とする交通渋滞の緩和と沿道周辺の都市機能の改善を図るための拡幅・立体事業です。

このうち、金町地区（約1.2km）は、金町立体として先行整備を行い平成7年度に完成しており、残る新宿地区（約0.9km）の整備を進めています。

《平成24年度の事業内容》

平成24年度は、新宿地区における用地調査、用地取得を推進します。



亀有警察署前付近